



2021年5月11日

各 位

会 社 名 あすか製薬ホールディングス株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 山口 隆  
(コード番号 4886 東証第一部)  
問い合わせ先 グループ経営企画部長 長尾 智仁  
(TEL. 03-5484-8366)

### 上場廃止となった子会社（あすか製薬株式会社）に関する決算開示について

2021年4月1日付で当社の完全子会社としたあすか製薬株式会社に関する2021年3月期決算短信（2020年4月1日～2021年3月31日）について、別紙のとおりお知らせいたします。

なお、あすか製薬ホールディングス株式会社の2022年3月期連結業績予想及び配当予想は、2021年5月11日公表の「2022年3月期通期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

以 上



## 2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月11日

上場取引所 一

会社名 あすか製薬株式会社  
 コード番号 ー URL <https://www.aska-pharma.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 長尾 智仁 TEL 03-5484-8366  
 定時株主総会開催予定日 2021年6月24日 配当支払開始予定日 2021年6月25日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月24日  
 決算補足説明資料作成の有無: 有  
 決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	55,181	5.0	3,609	139.5	3,092	80.2	2,713	317.7
2020年3月期	52,542	12.5	1,507	△15.5	1,715	△13.4	649	△62.8

(注) 包括利益 2021年3月期 3,368百万円 (ー%) 2020年3月期 △267百万円 (ー%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	95.72	—	6.3	3.8	6.5
2020年3月期	22.96	—	1.5	2.1	2.9

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 △453百万円 2020年3月期 7百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	82,582	44,510	53.9	1,568.89
2020年3月期	80,239	41,573	51.8	1,467.58

(参考) 自己資本 2021年3月期 44,510百万円 2020年3月期 41,573百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	6,541	△2,866	△455	10,514
2020年3月期	△492	△2,927	△392	7,294

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	7.00	—	10.00	17.00	481	74.0	1.1
2021年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00	398	14.6	0.9

(注) 1. 2020年3月期末配当金の内訳 普通配当 7円00銭 創立100周年記念配当 3円00銭

2. あすか製薬株式会社は、2021年3月30日付で上場を廃止していることから「2022年3月期(予想)」を記載しておりません。あすか製薬株式会社の完全親会社であるあすか製薬ホールディングスの配当予想につきましては、2021年5月11日公表の「2022年3月期連結業績予想及び配当予想等に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

あすか製薬株式会社は、2021年3月30日付で上場を廃止していることから業績予想を記載しておりません。

あすか製薬株式会社の完全親会社であるあすか製薬ホールディングスの業績予想につきましては、2021年5月11日公表の「2022年3月期連結業績予想及び配当予想等に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期	30,563,199株	2020年3月期	30,563,199株
2021年3月期	2,192,300株	2020年3月期	2,234,979株
2021年3月期	28,352,937株	2020年3月期	28,289,349株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

あすか製薬株式会社は、2021年4月1日付で単独株式移転により完全親会社となるあすか製薬ホールディングス株式会社を設立し、同社の完全子会社となりました。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16
4. 補足情報 .....	17
(1) 主力品の売上高 .....	17
(2) 臨床開発状況 .....	18
(3) [連結] 設備投資、減価償却費、研究開発費 .....	19

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

## ① 業績の概況

	前期	当期	増減額	増減率 (%)
売上高 (百万円)	52,542	55,181	2,639	5.0
営業利益 (百万円)	1,507	3,609	2,102	139.5
経常利益 (百万円)	1,715	3,092	1,376	80.2
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	649	2,713	2,064	317.7

当連結会計年度の売上高は、前期から26億3千9百万円増加し、55億8千1百万円（前期比5.0%増）となりました。利益面につきましては、売上高の増加に伴う売上総利益の増加に加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けた営業活動の自粛等による経費減少により、営業利益36億9百万円（前期比139.5%増）、経常利益30億9千2百万円（前期比80.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益27億1千3百万円（前期比317.7%増）といずれも大幅な増益となりました。

## ② セグメント別の業績

## &lt;医薬品事業&gt;

医療用医薬品の売上高は投薬期間制限解除となったGnRHアンタゴニスト「レルミナ」の大幅な伸長や難吸収性リファマイシン系抗菌薬「リフキシマ」の堅調な増加に加え、2020年2月に東亜薬品工業株式会社より製造販売承認を承継した切迫早産における子宮収縮抑制剤「マグセント」の寄与等もあり、薬価改定に伴う減収要因をカバーし増収となりました。さらに2020年9月に締結した杏林製薬株式会社との共同開発権及び販売権等に関する契約一時金および12月に締結したHarbin Pharmaceutical Group Co., Ltd. とのH2受容体拮抗薬アルタット（ロキサチジン酢酸エステル塩酸塩）の中国国内における独占的販売権契約に係る一時金の計上に加わり、医薬品事業セグメントの売上高は503億1千4百万円（前期比5.1%増）と増収となりました。また利益面では、売上高の増加に加えて、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う営業活動の自粛等による経費減少から、セグメント利益は69億5千8百万円（前期比41.8%増）と増益となりました。

## &lt;その他&gt;

動物用医薬品、検査、医療機器等の各事業を展開しているその他事業については、動物用医薬品の売上が増加したことにより、売上高は48億6千7百万円（前期比3.8%増）となりました。利益面では新型コロナウイルス感染症拡大に伴う事業活動自粛による経費減少等があったものの、検査事業の受注減少等を受け、セグメント利益は2億3千7百万円（前期比10.3%減）と増収減益となりました。

## ③ 研究開発の状況

研究開発につきましては、重点領域である内科・産婦人科・泌尿器科領域を中心とした創薬研究および臨床開発を推進すると共に、導出入活動および事業提携戦略も積極的に展開しております。

選択的プロゲステロン受容体調節剤CDB-2914（ウリプリスタル酢酸エステル）については、子宮筋腫を対象とした第Ⅲ相臨床試験を終了し、2019年12月に製造販売承認を申請しましたが、すでに承認・発売されていた海外での有害事象発生により、現在リスク評価を行っております。

武田薬品工業株式会社から導入し、2019年3月に子宮筋腫治療薬として発売しているGnRHアンタゴニストTAK-385（レルゴリクス）は、2021年1月に子宮内膜症に対する承認事項一部変更承認申請を実施しました。

新規アンドロゲン受容体モジュレーターAKP-009（ルダテロン酢酸エステル）は、2020年9月に杏林製薬株式会社と共同開発及び販売等に関する契約を締結し、前立腺肥大症を対象とした第Ⅱ相臨床試験を進行中です。

JCRファーマ株式会社から導入したAKP-501については、両社合意に基づき開発を中止しました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ23億4千3百万円増加し、825億8千2百万円となりました。これは主に、無形固定資産のその他および受取手形及び売掛金は減少しましたが、現金及び預金および投資有価証券が増加したためであります。

## (負債)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ5億9千3百万円減少し、380億7千2百万円となりました。これは主に、未払法人税等は増加しましたが、流動負債のその他が減少したためであります。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ29億3千6百万円増加し、445億1千万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上による利益剰余金の増加および株価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末から2.1ポイント上昇し53.9%となっております。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ32億1千9百万円増加し、105億1千4百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、65億4千1百万円（前年同期は4億9千2百万円の減少）となりました。これは主に、未払消費税等の減少はありましたが、税金等調整前当期純利益および減価償却費の計上によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、28億6千6百万円（前年同期は29億2千7百万円の減少）となりました。これは主に、関係会社株式および有形固定資産の取得によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、4億5千5百万円（前年同期は3億9千2百万円の減少）となりました。これは主に、配当金の支払によるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期
自己資本比率 (%)	59.8	64.3	52.9	51.8	53.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	69.0	71.2	39.4	38.8	50.5
キャッシュ・フロー対有利子負債 比率 (年)	0.4	43.6	3.9	-	2.5
インタレスト・カバレッジ・レシ オ (倍)	678.5	4.9	64.2	-	111.0

自己資本比率 : 自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー/利払い

※1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としておりません。
5. 2020年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率およびインタレスト・カバレッジ・レシオについては、キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

あすか製薬株式会社は、2021年3月30日付で上場を廃止していることから業績予想を記載しておりません。

あすか製薬株式会社の完全親会社であるあすか製薬ホールディングスの業績予想につきましては、2021年5月11日公表の「2022年3月期連結業績予想及び配当予想等に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。



## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,294	10,514
受取手形及び売掛金	13,792	13,153
商品及び製品	9,087	9,177
仕掛品	353	585
原材料及び貯蔵品	4,602	4,610
その他	2,196	1,891
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	37,326	39,932
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,123	17,159
減価償却累計額	△11,478	△11,771
建物及び構築物（純額）	5,644	5,388
機械装置及び運搬具	19,090	18,951
減価償却累計額	△16,093	△16,721
機械装置及び運搬具（純額）	2,996	2,230
土地	4,327	4,319
建設仮勘定	106	299
その他	4,685	4,450
減価償却累計額	△4,221	△4,012
その他（純額）	463	438
有形固定資産合計	13,539	12,675
無形固定資産		
無形固定資産仮勘定	8,446	8,421
その他	5,137	3,471
無形固定資産合計	13,584	11,893
投資その他の資産		
投資有価証券	9,794	12,503
繰延税金資産	3,670	3,513
その他	2,342	2,082
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	15,789	18,081
固定資産合計	42,913	42,650
資産合計	80,239	82,582

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,239	3,023
電子記録債務	2,801	3,432
短期借入金	450	350
1年内返済予定の長期借入金	2,298	2,298
未払金	4,979	4,490
未払法人税等	228	936
賞与引当金	984	1,138
役員賞与引当金	13	13
その他	2,131	1,052
流動負債合計	17,127	16,737
固定負債		
長期借入金	13,671	13,747
環境対策費用引当金	820	820
退職給付に係る負債	6,655	6,419
その他	390	348
固定負債合計	21,537	21,334
負債合計	38,665	38,072
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	928	928
利益剰余金	39,560	41,790
自己株式	△2,191	△2,139
株主資本合計	39,495	41,777
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,293	2,824
為替換算調整勘定	△9	△47
退職給付に係る調整累計額	△205	△44
その他の包括利益累計額合計	2,078	2,733
純資産合計	41,573	44,510
負債純資産合計	80,239	82,582

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	52,542	55,181
売上原価	28,525	29,798
売上総利益	24,016	25,383
販売費及び一般管理費	22,509	21,773
営業利益	1,507	3,609
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	228	237
不動産賃貸料	132	53
その他	63	74
営業外収益合計	424	366
営業外費用		
支払利息	64	59
持分法による投資損失	—	453
休止固定資産費用	—	185
その他	151	186
営業外費用合計	216	883
経常利益	1,715	3,092
特別利益		
投資有価証券売却益	—	491
保険代理店事業譲渡益	49	—
特別利益合計	49	491
特別損失		
減損損失	349	8
投資有価証券評価損	110	—
研究所移転関連費用	403	—
特別損失合計	862	8
税金等調整前当期純利益	901	3,575
法人税、住民税及び事業税	359	998
法人税等調整額	△107	△136
法人税等合計	252	861
当期純利益	649	2,713
親会社株主に帰属する当期純利益	649	2,713

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	649	2,713
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△837	531
退職給付に係る調整額	△65	161
持分法適用会社に対する持分相当額	△14	△38
その他の包括利益合計	△917	655
包括利益	△267	3,368
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△267	3,368

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,197	913	40,630	△2,281	40,460
会計方針の変更による累積的影響額			△1,320		△1,320
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,197	913	39,309	△2,281	39,140
当期変動額					
剰余金の配当			△398		△398
親会社株主に帰属する当期純利益			649		649
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		14		89	104
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	14	251	89	355
当期末残高	1,197	928	39,560	△2,191	39,495

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	3,130	5	△140	2,995	43,456
会計方針の変更による累積的影響額					△1,320
会計方針の変更を反映した当期首残高	3,130	5	△140	2,995	42,135
当期変動額					
剰余金の配当					△398
親会社株主に帰属する当期純利益					649
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					104
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△837	△14	△65	△917	△917
当期変動額合計	△837	△14	△65	△917	△561
当期末残高	2,293	△9	△205	2,078	41,573

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,197	928	39,560	△2,191	39,495
会計方針の変更による累積的影響額					—
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,197	928	39,560	△2,191	39,495
当期変動額					
剰余金の配当			△484		△484
親会社株主に帰属する当期純利益			2,713		2,713
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分				52	52
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	2,229	52	2,281
当期末残高	1,197	928	41,790	△2,139	41,777

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	2,293	△9	△205	2,078	41,573
会計方針の変更による累積的影響額					—
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,293	△9	△205	2,078	41,573
当期変動額					
剰余金の配当					△484
親会社株主に帰属する当期純利益					2,713
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					52
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	531	△38	161	655	655
当期変動額合計	531	△38	161	655	2,936
当期末残高	2,824	△47	△44	2,733	44,510

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	901	3,575
減価償却費	3,669	3,305
減損損失	349	8
その他の償却額	92	57
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△27	△75
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
受取利息及び受取配当金	△228	△238
支払利息	64	59
持分法による投資損益 (△は益)	△7	453
有形固定資産処分損益 (△は益)	3	△1
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△491
売上債権の増減額 (△は増加)	△8,472	639
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,215	△330
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,057	392
未払消費税等の増減額 (△は減少)	2,273	△1,086
その他の資産の増減額 (△は増加)	△955	346
その他の負債の増減額 (△は減少)	672	△196
その他	221	171
小計	△284	6,588
利息及び配当金の受取額	228	238
利息の支払額	△67	△58
法人税等の支払額	△370	△225
営業活動によるキャッシュ・フロー	△492	6,541
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,058	△1,028
無形固定資産の取得による支出	△206	△76
投資有価証券の取得による支出	△65	—
投資有価証券の売却による収入	—	599
関係会社株式の取得による支出	—	△2,342
その他	△597	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,927	△2,866
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△100
長期借入れによる収入	3,000	2,500
長期借入金の返済による支出	△3,048	△2,423
自己株式の純増減額 (△は増加)	54	52
配当金の支払額	△398	△484
財務活動によるキャッシュ・フロー	△392	△455
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,812	3,219
現金及び現金同等物の期首残高	11,107	7,294
現金及び現金同等物の期末残高	7,294	10,514

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、医療用医薬品等の製造・販売及び輸出入等を中心に事業を展開しており、「医薬品事業」を報告セグメントとしております。

「医薬品事業」は、主に医療用医薬品を製造・販売しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部利益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	47,851	4,690	52,542	—	52,542
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	76	76	△76	—
計	47,851	4,766	52,618	△76	52,542
セグメント利益	4,907	265	5,172	△3,665	1,507
セグメント資産	48,704	2,335	51,040	29,199	80,239
その他の項目					
減価償却費	3,128	5	3,134	276	3,411

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、動物用医薬品、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△3,665百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額29,199百万円は、各事業セグメントに配分していない全社資産であり、主に事業セグメントに帰属しない当社の金融資産（現金及び預金、投資有価証券）及び管理部門に係る資産であります。

(3) 減価償却費の調整額276百万円は、各事業セグメントに配分していない減価償却費であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。



当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	50,314	4,867	55,181	—	55,181
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	52	52	△52	—
計	50,314	4,919	55,234	△52	55,181
セグメント利益	6,958	237	7,196	△3,586	3,609
セグメント資産	45,313	2,708	48,022	34,560	82,582
その他の項目					
減価償却費	2,746	4	2,750	286	3,037

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、動物用医薬品、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△3,586百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額34,560百万円は、各事業セグメントに配分していない全社資産であり、主に事業セグメントに帰属しない当社の金融資産（現金及び預金、投資有価証券）及び管理部門に係る資産であります。

(3) 減価償却費の調整額286百万円は、各事業セグメントに配分していない減価償却費であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 【関連情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報として、同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
武田薬品工業(株)	46,140	医薬品事業

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報として、同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
武田薬品工業(株)	47,873	医薬品事業

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：百万円)

	医薬品事業	その他	合計	全社・消去	連結損益計算書 計上額
減損損失	317	9	327	21	349

(注) 「全社・消去」の金額は、セグメントに帰属しない全社資産に係る減損損失であります。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,467.58円	1,568.89円
1株当たり当期純利益	22.96円	95.72円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	649	2,713
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	649	2,713
期中平均株式数(千株)	28,289	28,352

従業員持株会信託口が保有する当社株式を、「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(前連結会計年度165千株 当連結会計年度118千株)。

また、「1株当たり当期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度189千株 当連結会計年度139千株)。

## (重要な後発事象)

当社は、2021年4月1日付で単独株式移転の方法により、当社の完全親会社となる持株会社「あすか製薬ホールディングス株式会社」を設立し、当社はその完全子会社となりました。

また当社は、2021年4月23日開催の臨時株主総会(会社法第319条第1項に基づく書面決議)におきまして、あすか製薬ホールディングス株式会社へ子会社株式を現物配当(適格現物分配)することを決議し、2021年4月26日に配当を実施いたしました。この子会社株式の現物配当により、当社は子会社の異動が生じることになります。

さらに当社は、2021年4月23日開催の臨時株主総会(会社法第319条第1項に基づく書面決議)におきまして、当社保有のあすか製薬ホールディングス株式会社株式を同社へ現物配当することを決議し、2021年4月26日に配当を実施いたしました。

## 4. 補足情報

## (1) 主力品の売上高

主力品の売上高  
(2021年3月期実績)

(単位:億円)

品目名	前期 2020年3月期	当期 2021年3月期	対前年増減率 (%)	次期 2022年3月期
	年間実績	年間実績		年間見込
高血圧症治療剤 カンデサルタン※	132.2	123.3	△ 6.8	106.1
甲状腺ホルモン剤 チラーヂン	68.9	72.1	4.6	72.8
子宮筋腫治療剤 レルミナ	26.2	57.1	118.3	72.6
LH-RH誘導体 マイクロカプセル型徐放性製剤 リュープロレリン	47.9	45.0	△ 6.1	39.2
難吸収性リファマイシン系抗菌薬 リフキシマ	37.8	43.3	14.7	53.0
月経困難症治療剤 フリウエル	22.5	29.5	31.3	26.6
抗甲状腺剤 メルカゾール	13.8	14.0	1.5	14.7
高血圧症治療剤 アムロジピン	14.4	12.9	△ 10.0	11.0
高脂血症治療剤 リビディル	13.7	11.0	△ 20.0	7.2
筋萎縮性側索硬化症用剤 リルゾール	8.5	10.8	28.0	10.3
経口避妊剤 アンジュ	10.1	9.1	△ 10.0	10.2
子宮収縮抑制剤 子癇発症抑制・治療剤 マグセント	0.6	9.1	1,536.3	7.0

※ カンデサルタン配合剤を含む

## (2) 臨床開発状況

## 臨床開発状況

(2021年5月現在)

2021年5月11日

あすか製薬株式会社

区 分	(開発番号) 一般名	領域・効能	備 考
申請中	(CDB-2914) ウリプリスタル酢酸エステル	子宮筋腫	Laboratoire HRA Pharma,SA (フランス)より導入
申請中	(TAK-385) レルゴリクス	子宮内膜症	武田薬品工業(株)より導入
Phase II・III	(L-105) リファキシミン	肝性脳症 (小児適応)	Alfasigma S.p.A(イタリア)より 導入
Phase II	(AKP-009) ルダテロン酢酸エステル	前立腺肥大症	杏林製薬(株)との共同開発
Phase I / II	(LF111) ドロスピレノン	避妊	Insud Pharma(スペイン)より導入
Phase I	(L-105) リファキシミン	クローン病	Alfasigma S.p.A(イタリア)より 導入

## ※前回からの変更点

Phase I の段階にありましたAKP-501については、両社合意に基づき共同開発を終了いたしました。

## (3) [連結] 設備投資、減価償却費、研究開発費

## 1. 設備投資

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
通 期	2,240 百万円	766 百万円	(予) <b>718</b> 百万円

## 2. 減価償却費

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
通 期	3,669 百万円	3,305 百万円	(予) <b>2,913</b> 百万円

## 3. 研究開発費

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
通 期	4,913 百万円	4,709 百万円	(予) <b>3,883</b> 百万円